

問 44 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

① 学校の成績が悪かった大学生のなかには、

「自分は頭が悪い」

などと、知的能力の不足などのように、変えようのない素質的なものが原因であるとす
る学生がいます。しかし、別の学生は、

「この秋は勉強するよりも、学園祭で忙しかったので、成績が悪かった」

などと、原因として一時的な状況的理由をあげる学生もいます。

② 学生が自分の成績が悪い原因を一時的に*帰することができるものにするか、能力の
ように変えようのないものにするかは、その後の行動に影響を与えます。もし学生が自分
の学業問題の原因を、知的能力不足に帰するなら、

「勉強してもどうせできないのだから」

などと考えるようになり、勉強しようとする動機づけは弱くなり、改善があまり期待で
きないこととなります。さらに学業成績が悪いことが心配で不安になり、そのことがさら
に勉強の邪魔になると考えられます。

③ しかし学生が自分の成績が悪いことを、努力不足や他に興じていたことなどの一時的
な原因に*帰属させるとしたら、次回に努力すれば、成績の改善が見込めると思うので、
成績が悪くても落ち込むようなことはありません。

④ このことは、悪い学業成績について自分の頭の悪さなどへ帰属させている学生の考え
を改めさせれば、学生の成績を改善できるということになります。そのように考えた心理
学者のウィルソンたちは、次のような実験を行いました。

⑤ 試験の成績が悪い、またリポートをきちんと提出しない、大学中退を考えているなど
の学業問題を抱えている一年生の学生を、被験者として集めました。そして、この学生た
ちに、悪い学業成績についての原因をたずね、それが固定的な原因であった場合、一時的
な原因に変えるように方向付けました。

⑥ 具体的な方法としては学生たちに実際の例を示したのです。学生たちと同じように、
一年の時に成績が悪かったにもかかわらず、後で成績が改善した先輩の例についてのリ
ポートを読ませました。また、ビジュアルでも一年生の時よりも成績点の平均が上がった
先輩のビデオを見せました。

⑦ その結果、自分の悪い学業成績について、個人の*属性から一時的な問題に変えるこ

とができました。そして、その後の成績が上がりました。

- ⑧ 悪い成績を頭の悪さに帰属させず、ウソでもいいから、努力不足や外的要因に帰属させることが成績向上の決め手になるようです。

(齊藤勇『人はなぜウソをつくのか?』毎日新聞社より)

* (～に) 帰する：～に責任があると考え、～のせいにする

* 帰属きぞくさせる：責任があると考え

* 属性ぞくせい：性質

I 成績が悪い原因として「頭の悪さ」と同じ意味に使っている言葉はどれですか。

1. 努力不足
2. 固定的な原因
3. 外的要因
4. 一時的な問題

II 成績の改善かいぜんが期待できる学生は次のどれですか。

1. 成績が悪かった大学一年のすべての学生
2. 成績が悪いのは、自分の頭が悪いせいだと思っている学生
3. 努力が足りないから成績が悪いと思っている学生
4. リポートが出せないので大学をやめようと思っている学生

III 筆者の考えが書かれていない段落の組み合わせはどれですか。

1. ①と③
2. ②と⑤
3. ⑤と⑥
4. ⑥と⑧